

古典探究	単位数	4単位	学科・学年・学級	
------	-----	-----	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編古典探究」(古探 701)
副教材など	「新編古典探究学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「よくわかる新選古典文法」 / 「新選古典文法ノート」 / 「新徹底理解高校漢文」 / 「新徹底理解高校漢文ワーク」 / 古語辞典 / その他, D マークコンテンツ(教科書), 指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## 3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
  - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
  - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

## 4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

### 《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

### 《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（読む），教材名，ページ数，配当時数を示した。

### 《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

#### 記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

Ⓔ …… 「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

### 《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

### 《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

#### 記号の説明

\* …… 指導上の留意点や別案

D …… D マークコンテンツの活用

### 《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は，次の4つの内容を全て含め，各教材の目標や学習内容等に応じて，その組み合わせを工夫しながら設定している。また，文末

は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

#### **記号の意味**

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

I部 2年次2単位配当

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1学期				
古文編1 説話に親しむ(4~5月)				
読む 宇治拾遺物語 P10 2時間	[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ [思判表] 読む こと(1)ア,イ, ウ,オ	・展開のおもしろ さを味わいな がら,説話を正 確に読み取る。	□説話文学の特徴や文学史について, 「言語文化」の学習を踏まえ,確認す る。 □資料集などで出典について調べる。  <b>【小野篁, 広才のこと】</b> 1 帝の篁への疑いの原因と, その疑いを 晴らしたものが, ともに篁の学才にあ ることを理解する。(手引き1) 2 言葉遊びのおもしろさがどこにあるか を読み取る。(手引き2) 3 「帝ほほ笑ませ給ひて, 事なくてやみに けり。」となった理由を考える。(手引 き3)  □帝と篁のやりとりのおもしろさをまと める。	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必 要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を 深めている。 ・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現 の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と 中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を 深めている。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確 に捉えている。 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意 して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉え て内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評 価している。 ・「読むこと」において, 古典の作品や文章について, 内容や解釈を自分 の知見と結び付け, 考えを広げたり深めたりしている。 [主] 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい, 学習 課題に沿って, 説話を正確に読み取ろうとしている。

<p>読む 十訓抄</p> <p>P12 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ [思判表] 読む こと(1)ア,イ, ウ,オ</p>	<p>・和歌を含んだ説話を読み取り、展開のおもしろさを捉える。</p>	<p>□説話文学の特徴や文学史について「言語文化」の学習を振り返り、確認する。</p> <p><b>【大江山の歌】</b></p> <p>1 定頼中納言の言動の内容を読み取る。 (手引き1)</p> <p>2 小式部内侍のとった行動を読み取る。 (手引き2)</p> <p>3 和歌文学、および和歌の技巧について理解する。</p> <p>□登場人物の思いや状況、歌の工夫などを踏まえて、歌の良さを文章にまとめる。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>[主] 進んで和歌を含んだ説話を読み取り、学習課題に沿って展開のおもしろさを捉えようとしている。</p>
<p>読む 宇治拾遺物語</p> <p>P14 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ [思判表] 読む こと(1)ア,イ, エ,カ</p>	<p>・絵巻の内容も踏まえながら説話を読み取り、内容についての理解を深める。</p>	<p>□知っている説話を挙げ、特徴を確認する。</p> <p><b>【空を飛ぶ倉】</b></p> <p>1 本文を音読する。</p> <p>2 絵巻の描写部分と対応させながら内容</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現</li> </ul>

			<p>を理解する。(手引き1)</p> <p>3話のおもしろさについて考える。(手引き2)</p> <p><input type="checkbox"/>図書館やインターネットで、古典の説話等で法師が不思議な力を持ち発揮する話を検索する。</p> <p><input type="checkbox"/>各話について要約したり、特徴を表にまとめたりする。</p> <p><input type="checkbox"/>共通点等についてグループで話し合い、発表する。</p>	<p>の特色について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで絵巻と本文とを関連付けて捉え、学習課題に沿って内容についての理解を深めようとしている。</p>
--	--	--	---	---

漢文編1 故事と小話 (5月)

<p>読む 小話一四編〔言語〕 P158 3時間</p> <p>■漢文の窓1 漢文と古典落語</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, イ / (2)ア, イ, ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, キ ㊦ 読むこと(2)ア</p> <p><b>【知技】</b>(1)ア, イ / (2)ア, エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ウ, エ,</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べることで理解を深める。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/>「言語文化」で学習した故事成語や覚えている故事成語を発表し、故事成語について確認する。</p> <p><b>【蛇足】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 「為<sub>ス</sub>蛇<sub>ノ</sub>足<sub>ヲ</sub>者」が酒を失った理由を考える。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul>
--	--	--	--	--

	ク		<p>4 「蛇足」などの故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2・3)</p> <p><b>【断腸】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。</p> <p>3 桓公が「猿子」を得た者を罷免した理由を考える。(手引き1)</p> <p>4 「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2)</p> <p><b>【知音】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。</p> <p>3 伯牙と鍾子期の関係を読み取る。(手引き1)</p> <p>4 「知音」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き2)</p> <p><b>【畏饑頭】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 「窮書生」が饑頭を食べるために考えた計略について確認する。(手引き2)</p> <p>4 この話のおもしろさがどのような点にあるのか話し合う。(手引き3)</p>	<p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。</p>
--	---	--	---	---

			<p>□本単元の教材をもとにして生まれた故事成語や落語などについて知り，日本におけるさまざまな漢文受容について考える。(言語活動)(漢文の窓1)</p>	
古文編2 随筆を読む(6月)				
<p>読む 徒然草〔言語〕  P20 4時間</p>	<p>【知技】(1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，ウ，カ ㊦読むこと(2)ア</p>	<p>・随筆に表れている作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取る。</p>	<p>□随筆文学が，作者の自由な目で記されたものであり，題材・文体が多岐にわたることを理解する。</p> <p>【丹波に出雲といふ所あり】</p> <p>1 主語を確認しながら，話のあらすじを読み取る。</p> <p>2 聖海上人の言葉の変化に沿って，その心情を読み取る。(手引き1)</p> <p>3 この話のおもしろさは，どういうところにあるか説明する。(手引き2・3)</p> <p>【九月二十日のころ】</p> <p>1 主語に注意しながら，話のあらすじを読み取る。(手引き1)</p> <p>2 人物の行動を整理する。(手引き1)</p> <p>3 作者の「その人」に対する評価をまとめる。(手引き2・3)</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを</li> </ul>



			<p>4 絵の違いを見つけ、その違いについて考えたことを話し合う。(言語活動)</p> <p><b>【花は盛りに】</b></p> <p>1 話題とする物事を、段落ごとに自然と人事に分けて整理する。</p> <p>2 作者が推賞する花や月の美について理解するとともに、恋のあり方についても読み取る。(手引き1・2)</p> <p>3 構成に注意して、作者の述べるものの見方や感じ方について理解する。</p>	<p>広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで各章段の構成や展開、内容を的確に捉え、学習課題に沿って作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</li> </ul>
<p>読む</p> <p>〔言語〕『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる</p> <p>P 26</p> <p>1 時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2)ア, イ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)エ, カ, ク</p> <p>㊦ 読むこと(2)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察する。</li> </ul>	<p>1 「花」や「月」における見解の違いを読み取りまとめる。(課題1)</p> <p>2 「恋」における見解の違いを読み取りまとめる。(課題2)</p> <p>□隠者文学としての『徒然草』の内容と文学的位置について理解する。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul>

				<p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b></p> <p>・進んで随筆を読み比べ、学習課題に沿って作者の考え方の違いについて考察しようとしている。</p>
<p>読む 方丈記</p> <p>P29 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>・表現の特色に注意しながら、随筆に表れている作者の考えを的確に捉える。</p>	<p>□『方丈記』の内容と作者、時代背景についてまとめる。</p> <p><b>【ゆく河の流れ】</b></p> <p>1 全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。</p> <p>2 「人」と「栖」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。(手引き1)</p> <p>3 「無常を争ふさま」とはどのようなことを踏まえて、『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。(手引き2)</p> <p>□作品の現代的意義について考える。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。</p>

<p>読む 唐詩一八首</p> <p>P166 4時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, エ/(2)ア, エ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ</p>	<p>・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り, 優れた表現に親しむ。</p>	<p>□「言語文化」で学習した「漢詩の形式ときまり」をコピーして配布したり, 便覧などを利用したりして, 漢詩のきまりや特色を思い出す。</p> <p><b>【宿建徳江】 【勸酒】 【静夜思】</b></p> <p>1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。(手引き1) 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き3) 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き1) 7 訳詩を試みる。</p> <p><b>【磧中作】 【送元二使安西】 【登岳陽樓】</b></p> <p>1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。(手引き1) 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き3・4) 5 正確な現代語訳をする。(手引き2) 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き1) 7 訳詩を試みる。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辭などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において, 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んでさまざまな唐詩を読み味わい, 学習課題に沿って, 言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。</p>
---	---	---	--	--

			<p><b>【登高】【八月十五日夜，禁中独直，对月憶元九】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 それぞれの作者について理解する。</li> <li>2 詩を声に出して読む。(手引き 1)</li> <li>3 それぞれの詩の内容を捉える。</li> <li>4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き 3・4)</li> <li>5 正確な現代語訳をする。</li> <li>6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き 1)</li> <li>7 訳詩を試みる。</li> </ol> <p><input type="checkbox"/> 近体詩八首の中で印象に残った詩を挙げ, どこが印象的であるかを話し合う。</p> <p>* <input type="checkbox"/> この教材には, 関連するデジタルコンテンツが用意されているので, 適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	--	--

<p>読む 文一二編</p> <p>P175 4時間</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, ウ ／(2)イ, エ</p> <p><b>【思判表】</b> 読む こと(1)ア, イ, ウ, キ</p>	<p>・ 語句の意味や修 辞に注意して 内容を読み取 り, ものの見方 や感じ方を広 げる。</p>	<p>□教科書のP.一六五の略年表や便覧等を用いて, 作者の韓愈・陶潜が, いつの時代の人であるかを確認する。</p> <p><b>【雑説】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 段落ごとに, 脚注・辞書等を参照して, 語句・句法の意味・用法に注意しながら正しく現代語訳し, 内容を確認する。 (手引き1)</p> <p>3 段落相互の関係に留意し, 各段落の要点を整理する。(手引き2)</p> <p>4 作者は「伯樂」と「千里馬(名馬)」の比喻によって何を主張しようとしたのかを考える。(手引き3)</p> <p>5 「雑説」の内容について, 現代に通じる点を考え, 話し合う。</p> <p><b>【桃花源記】</b></p> <p>1 本文を正しく音読する。</p> <p>2 段落ごとに, 脚注・辞書等を参照し, 語句・句法の意味・用法に注意して正しく現代語訳し, 内容を理解する。(手引き1)</p> <p>3 あらすじをまとめ, 話の展開を理解する。(手引き2)</p> <p>4 「桃花源」とはどのような村か, 箇条書</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・ 古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・ 先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価している。</li> <li>・ 「読むこと」において, 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深めている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り, 学習課題に沿って, 現代に通じる内容やテーマについて考察しようとしている。</p>
--	---	--	--	--

			<p>きに整理して確認する。(手引き3)</p> <p>5「桃花源記」の作者陶潜が、この作品を書いた思いについて考え、話し合う。</p> <p><input type="checkbox"/>「雑説」と「桃花源記」の現代に通じるテーマについての意見交換を通して、それぞれの文章の内容を再確認する。</p>	
--	--	--	--	--

■ 2 学期

古文編3 作り物語を読む(9月)

<p>読む 竹取物語〔言語〕 P32 4時間</p> <p>■ 古文の窓1 羽衣伝説</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2)ア, イ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ</p> <p><b>【知技】</b> (1)イ / (2)ア <b>【思判表】</b> 読むこと(1)エ</p>	<p>・作り物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉える。</p>	<p><input type="checkbox"/>昔話としての「かぐや姫」について発表する。</p> <p><input type="checkbox"/>作品全体についての解説を聞き、概略を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>「なよ竹のかぐや姫」を音読し、古文のリズムを味わう。また、大まかな内容を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>かぐや姫の誕生についてどのように描かれているか確認し、作品の伝奇的特質について話し合う。</p> <p><input type="checkbox"/>伝奇的特質に注目して、昔話などの話型を確認する。</p> <p><b>【天の羽衣】</b></p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> </ul>
--	--	---	---	---

		<p>1 全文を通読し、概略を捉える。</p> <p>2 かぐや姫の言動に注目し、その人物像について考える。(手引き1)</p> <p>3 「天の羽衣」は、かぐや姫にどのような変化をもたらしたか、考える。(手引き2)</p> <p>4 古文の窓1「羽衣伝説」を読み、知識を広げる。</p> <p><b>【富士の山】</b></p> <p>1 全文を通読し、概略を捉える。</p> <p>2 帝の心情と行動について考える。(手引き1)</p> <p>3 「富士の山」の名前のいわれについて、本文の内容をまとめる。(手引き2)</p> <p>□「天の羽衣」「富士の山」から、当時の人々のどのような思いが読み取れるか、話し合う。(言語活動)</p> <p>* <b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで作り物語の内容を叙述に即して読み取り、学習課題に沿って物語に表れた人々の思いを捉えようとしている。</p>
古文編4 和歌の世界(9月)			
読む 小倉百人一首の世界 『小倉百人一首』より 〔言語〕	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読む</p>	<p>・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、</p> <p>□『小倉百人一首』の中で知っている歌を挙げ、その意味を確認する。</p> <p>□『小倉百人一首』の成立について、簡</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p>

<p>P40 3時間</p>	<p>こと(1)ア, イ, ウ, カ, ク</p>	<p>言語文化について自分の考えを深める。</p>	<p>単な経緯を知る。</p> <p>1 「君がため…」の歌について、筆者が「視覚」「心情」それぞれの面からどのように評価しているかを確認する。(手引き1①)</p> <p>2 「ちはやぶる…」の歌について、どのような情景を詠んだと考えられるかを確認する。(手引き1②)</p> <p>3 「わが袖は…」の歌について、「沖の石」のどのような状態を、どのような心情にたとえたのかを確認する。(手引き1③)</p> <p>4 「めぐりあひて…」の歌について、月のどのような様子を、幼友達のどのような様子にたとえたのかを確認する。(手引き1④)</p> <p>5 教科書に鑑賞文が掲載された歌以外の和歌を鑑賞する。(言語活動)</p>	<p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b></p> <p>・進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し、学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>読む 〔言語〕和歌を読み比べる—討論会形式の「歌合」</p>	<p><b>[知技]</b> (1)イ／(2)ア <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ウ, カ</p>	<p>・和歌を読み比べ、その内容や技法などについて理解を深</p>	<p>1 歌合にふさわしい和歌二首を選び、自分が応援する歌を決め、その歌のよいところをまとめる。(課題1・2)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p>



<p>P 51 1 時間</p>		<p>める。</p>	<p>2 討論を行う。(課題 3) 3 審判が判定をする。(課題 4) 4 和歌の鑑賞について振り返る。(課題 5)</p> <p>□『小倉百人一首』が果たした役割について知る。</p>	<p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで和歌を読み比べ、学習課題に沿って和歌の内容や技法などについて理解を深めようとしている。</li> </ul>
----------------------	--	------------	---	--

漢文編 3 史記を読む (10 月)

<p>読む 項羽と劉邦〔言語〕 P 182 7 時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ / (2)ウ, エ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ ㊦ 読むこと (2)ア</p>	<p>・登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話合う。</p>	<p>□「本紀」「紀伝体」等の形式を確認する。</p> <p><b>【鴻門之会】</b></p> <p>1 第一段落と第二段落を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認する。 2 第一段落と第二段落を現代語訳し、登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理する。(手引き 1) 3 第三段落の第一節と第二節(一八七・2 まで)を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認する。 4 第三段落の第一節と第二節を現代語訳し、新たな登場人物を整理する。(手引き 1) 5 第三段落の第三節と第四段落を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを</li> </ul>
--	--	--	--	--

			<p>する。</p> <p>6 第三段落の第三節と第四段落を現代語訳し、登場人物のはたらき、樊噲の主張をまとめる。(手引き 2・3)</p> <p>7 沛公が無事に脱出できた理由を話し合う。(手引き 4)</p> <p><b>【四面楚歌】</b></p> <p>1 本文の前半(一九一・1「騎之」まで)を音読する。</p> <p>2 句法に注意して本文前半を書き下し、現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>3 本文の後半(一九一・1「於是」以降)を音読する。</p> <p>4 句法に注意して本文後半を書き下し、現代語訳する。(手引き 2)</p> <p><b>【項王自刎】</b></p> <p>1 第一段落を音読する。</p> <p>2 句法に注意して第一段落を書き下し、現代語訳する。(手引き 2)</p> <p>3 第二段落を音読する。</p> <p>4 句法に注意して第二段落を書き下し、現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>5 三つの教材を通して、項羽の人物像について話し合う。(手引き 3)</p> <p>6 「項羽笑曰」の笑いとはどのような笑いか考え、話し合う。(言語活動)</p>	<p>広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【主】</b> 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。</p>
--	--	--	---	---

			<p>*<input type="checkbox"/>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>読む 〔言語〕『史記』の名場面を脚本化する P195 1時間</p> <p>■漢文の窓2 捲土重来</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ / (2)イ, エ [思判表] 読むこと(1)ウ, オ, ク ④ 読むこと (2)エ [知技] (1)ア, ウ / (2)エ [思判表] 読むこと(1)ウ, ク</p>	<p>・作品を読み込んで脚本化を試み、グループ内で朗読したり、劇として演じたりしてみる。</p>	<p><input type="checkbox"/>これまでの学習で読み取った人物像をもとに、項羽の生き方についてどう思うか話し合う。</p> <p>1 脚本化する場面を決める。 2 選んだ場面を読み込み、登場人物の心情や人間性を考える。 3 登場人物の姿を生き生きと描き出せるよう工夫しながら、脚本を書く。 4 完成した脚本をグループ内で読み合う。</p> <p><input type="checkbox"/>蘇軾の文章や杜牧、王安石の詩を参考にして、項羽の行動に対する自分なりの評価を考える。(漢文の窓2)</p>	<p>[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>[思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。</p>
漢文編4 中国の知恵 (11月)				
読む	[知技] (1)ア, イ	・古代中国のさま	<input type="checkbox"/> 「寓話」という言葉を国語辞典・漢和	[知技]

<p>寓話一五編</p> <p>P198 7時間</p>	<p>／(2)ウ, エ 【思判表】読む こと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>ざまな考え方に触れ、寓話や故事成語の意味について理解を深める。</p>	<p>辞典で調べ、教訓的な内容を、たとえを用いて表した話であることを理解する。</p> <p>□寓話の出典が書かれた時代を、教科書巻末の「中国文学史年表」で確認し、それぞれの寓話が春秋・戦国時代という価値観の混乱した時代から生まれたことを理解する。</p> <p><b>【出藍誉】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を繰り返し音読する。</li> <li>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</li> <li>3 それぞれのたとえ話が、元のものよりも優れたものとなっている例と、ものの性質は後天的に矯正することができる例であることを確認する。(手引き2)</li> <li>4 主題をまとめる。</li> <li>5 「出藍の誉れ」がここから生まれた故事成語であることと、その一般的な意味について確認する。(手引き3)</li> </ol> <p><b>【侵官之害】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を繰り返し音読する。</li> <li>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ、学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとしている。</p>
----------------------------------	---	--	---	--

			<p>3 韓の昭侯が「典冠」と「典衣」双方を処罰した理由を理解する。(手引き 2)</p> <p>4 『韓非子』が説く「明主」のあり方を理解する。</p> <p><b>【刻舟求劍】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>3 本文をたとえ話と筆者の主張の部分とに分け、それぞれの内容をノートにまとめる。(手引き 2)</p> <p>4 「刻舟求劍」の故事成語の意味を参考にしながら、本文の主題を考える。(手引き 3)</p> <p><b>【塞翁馬】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>3 「塞翁」と周囲の人々の場面ごとの言動を確認する。</p> <p>4 本文に述べられている「禍」と「福」について順番に指摘させ、ノートにまとめる。(手引き 2)</p> <p>5 「塞翁」の考え方について確認する。</p> <p>6 「塞翁が馬」という故事成語の意味や</p>	
--	--	--	--	--

			<p>使い方を理解する。(手引き3)</p> <p><b>【杞憂】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 「杞国」の人の心配と、それに対する「暁す者」の説明を、ノートにまとめる。(手引き2)</p> <p>4 「杞憂」という故事成語の意味や使い方を理解する。(手引き3)</p> <p>□それぞれの寓話と、便覧等で調べた思想家の基本的主張とを対比し、寓話が思想表明であり、読者を説得しようとしていることを確認する。</p> <p>□各寓話を時代順に並べ替え、現実世界を治めるための手段がより現実に即した形に変化していることを確認する。</p>	
古文編5 日記を読む(12月)				
<p>読む 土佐日記</p> <p>P54 4時間</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, イ, ウ, エ/(2)ア, イ</p> <p><b>【思判表】</b>読むこと(1)ア, イ, ウ, エ, カ</p>	<p>・表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。</p>	<p>□日記と日記文学との違い、この作品の内容と作者について、そのおおよそを理解する。</p> <p><b>【馬のはなむけ】</b></p> <p>1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。(手引き1)</p> <p>2 この章段に書かれている旅立ちの事情</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と</li> </ul>

			<p>を読み取る。(手引き2)</p> <p>3 臃化表現，機知を感じさせる表現を指摘し，この作品の特色を考える。</p> <p>4 冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。 (手引き3) (古文の窓2)</p> <p><b>【掃京】</b></p> <p>1 自邸の荒れた様子と，管理を申し出た隣人に対する不信感と憤りを読み取る。(手引き1)</p> <p>2 和歌を詠むに至った経緯と心情，および和歌の内容を読み取る。(手引き2)</p> <p>3 末尾の一文を読み取り，冒頭と照応している結語であることを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の旅のしきたりや，船旅の困難な様子をまとめる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮名文による日記の文学史的位について理解する。</p>	<p>中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで作品の表現や形式の特徴について理解し，学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。</p>
<p>読む 更級日記</p> <p>P58 3時間</p> <p>■ 古文の窓2</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア，イ，エ，オ</p> <p><b>【知技】</b> (1)イ／</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の作品との関係も踏まえながら日記を読み，作者の心情を的確に捉える。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 日記文学の流れと概要について学び，理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 『更級日記』とその作者について理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の東国から都までの旅について，そのおおよそを確認する。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> </ul>

<p>日記文学—『蜻蛉日記』 と『更級日記』</p>	<p>(2)ア 【思判表】読む こと(1)エ</p>		<p><b>【門出】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を読み、作者の育った東国の生活について理解する。(手引き1)</li> <li>2 作者の物語への憧れについて整理する。(手引き2)</li> <li>3 門出にあたっての作者の心情を読み取る。(手引き3)</li> <li>4 作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。</li> </ol> <p><b>【物語】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本文を読み、「源氏の物語」を手に入れた経緯と、それまでの作者の気持ちをまとめる。(手引き1)</li> <li>2 「源氏の物語」を読む感動はどのように描かれているか、まとめる。(手引き2)</li> <li>3 ここに語られる「夢」とはどういうものか理解し、それに対する作者の態度を読み取る。</li> <li>4 「まづいとはかなく、あさまし。」という表現に注目して、少女時代の物語耽溺に対する晩年の思いを知る。(手引き3)</li> </ol> <p><input type="checkbox"/>二教材から分かる、日記文学の特徴を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。</p>
--------------------------------	------------------------------------	--	--	--



			挙げる。	
■ 3 学期				
古文編 6 軍記物語を味わう (1 月)				
読む 平家物語〔言語〕 P 66 4 時間	【知技】(1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ 【思判表】読む こと(1)ア, イ, ウ, カ ㊦ 読むこと (2)エ	・朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする。	<input type="checkbox"/> 平安末期の混乱した時代背景についてまとめる。 <input type="checkbox"/> 「壇の浦の合戦」の『平家物語』における時代・時間的な位置づけを明らかにする。  <b>【壇の浦の合戦】</b> 1 全体の構成を意識しながら通読して、あらすじをつかむ。 2 第一段落と第二段落における、教経の奮戦の様子を読み取る。 3 教経がどのような人物として描かれているか考える。(手引き 1) 4 第三段落の知盛の発言に着目し、知盛がどのような人物として描かれているか、教経と対比しながら考える。(手引き 1) 5 最後の場面の描写からどのような感じを受けるか話し合う。(手引き 2)  <input type="checkbox"/> 「壇の浦の合戦」に描かれた、死に直面する人物が何を考え、何を思っていたのかをまとめる。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを
■ 古文の窓 3 受け継がれる『平家物語』	【知技】(1)イ / (2)ア, エ 【思判表】読む こと(1)エ			

			<input type="checkbox"/> 激しい海上戦の状況や人物の心情を意識して朗読する。(言語活動) <input type="checkbox"/> 『平家物語』から広がる文学・芸能の諸相について考える。(古文の窓3)	広げたり深めたりしている。 <b>【主】</b> 進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し、学習課題に沿って描かれた人物像を読み取るうとしている。
漢文編5 三国志の世界(2月)				
読む 十八史略 (参考) 星落秋風五丈原 P208 8時間 ■漢文の窓3 三国志	<b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ/(2)ウ, エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, キ <b>【知技】</b> (1)ア, イ/(2)ア, エ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)エ, ク	・歴史上の人物を描いた作品を通し、登場人物の行動や心情を捉え、人間の生き方を考える。	<input type="checkbox"/> 『十八史略』『三国志』の特徴を確認する。 <b>【水魚之交】</b> 1 本文を音読し、話の内容を大まかに捉える。 2 句法に注意して本文を書き下し、現代語訳する。(手引き1) 3 諸葛亮が自らを管仲・楽毅になぞらえていた、とはどのようなことか、発表する。 4 諸葛亮はどのような人物であるのか、簡潔にまとめる。 5 諸葛亮の「天下三分の計」の要点を具体的に理解する。(手引き2) 6 諸葛亮の献策を劉備はどう評価したのか、考える。(手引き3) <b>【蠅股肱之力】</b> 1 本文を音読し、書き下し文・現代語訳を作成する。(手引き1・2) 2 劉備と諸葛亮の相手に対する心情と、	<b>【知技】</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 <b>【思判表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。

			<p>深い信頼関係を読み取る。</p> <p>3 劉備の遺言に対する返答から、諸葛亮の人柄を考える。</p> <p><b>【流涕斬馬謖】</b></p> <p>1 本文を音読し、書き下し文にする。(手引き1)</p> <p>2 使役と受身に注意して、現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 第一段落の展開について、蜀と魏が比較できるよう表にまとめて整理する。(手引き2)</p> <p>4 この話からわかる孔明の人柄をまとめる。(手引き3)</p> <p><b>【死諸葛走生仲達】</b></p> <p>1 第一段落と第二段落を音読し、書き下し文にする。</p> <p>2 第一段落と第二段落を現代語訳し、諸葛亮と司馬懿の考えを把握する。</p> <p>3 第三段落を音読し、書き下し文にする。(手引き1)</p> <p>4 句法に注意して第三段落を現代語訳する。(手引き1)</p> <p>5 司馬懿の心理を考える。(手引き2)</p> <p>□「参考」の詩を読んで、諸葛亮がどのように後世の人(特に日本人)にイメ</p>	<p><b>[主]</b> 進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考えようとしている。</p>
--	--	--	---	---

			ージされているかとらえる。	
古文編7 近世文学の世界 (3月)				
読む 世間胸算用  P76 2時間	[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ [思判表] 読む こと(1)ア,イ, エ,カ	・作品の背景も踏 まえながら,近 世文学の内容 を読み取る。	<input type="checkbox"/> 井原西鶴とその作品,なかでも「町人 物」と呼ばれる作品について調べ,その 特色を知る。  【蝸売りの八助】 1「八助」の人物像と,商売の方法を読み 取る。(手引き1) 2「親仁」の言葉の比喩の意味を考え,話 の展開を確認する。(手引き2) 3話の結末を踏まえ,どのような教訓が 込められているのか考察する。(手引き 3) 4本文を音読し,文章のリズムを味わう。  <input type="checkbox"/> 近世の文章の特色について考察する。	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し,古典を読むために必 要な語句の量を増すことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応,文章の構成や展開の仕方について理解を 深めている。 ・古典の作品や文章に表れている,言葉の響きやリズム,修辞などの表現 の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して,我が国の文化の特質や,我が国の文化と 中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を 深めている。 [思判表] ・「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,構成や展開などを的確 に捉えている。 ・「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,古典特有の表現に注意 して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において,作品の成立した背景や他の作品などとの関係を 踏まえながら古典などを読み,その内容の解釈を深め,作品の価値につ いて考察している。 ・「読むこと」において,古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方,考え方を踏まえ,人間,社会,自然などに対する自分の考えを 広げたり深めたりしている。 [主] 進んで近世小説のリズムや表現を味わい,学習課題に沿って近世小 説に描かれた人々の生活や人物像を読み取ろうとしている。
読む おらが春  P79	[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ	・表現の特色に注 意しながら,作 者のものの見	<input type="checkbox"/> 小林一茶という作者や『おらが春』につ いて調べ,大まかな知識を得る。	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し,古典を読むために必 要な語句の量を増すことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。

<p>2時間</p>	<p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>方, 感じ方, 考え方を読み取る。</p>	<p><b>【幼子さと】</b></p> <p>1 段落ごとに, さとがどのように描かれているか整理する。(手引き2)</p> <p>2 さとに対する作者の思いを, たとえの表現から考える。(手引き1・2)</p> <p>3 本文に描かれた家族のありようから, 作者の人生観を読み取る。</p> <p><input type="checkbox"/> 本文の表現や内容について, 印象に残った点をまとめる。</p> <p><input type="checkbox"/> 全体の鑑賞を通して, 時代を経ても変わらない人間の心の機微について考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において, 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 進んで作者の表現の工夫について理解し, 学習課題に沿って描写に表れる作者の精神性について読み取ろうとしている。</p>
<p>読む ご当地キャラクターと 古典</p> <p>P83 1時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)イ/ (2)ア, ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)キ, ク</p>	<p>・ご当地キャラクターなどを通して, 現代に生き続けている古典について理解を深める。</p>	<p><input type="checkbox"/> 自分たちが住む土地に関係する古典作品や歴史上の人物について発表する。</p> <p>1 「今に残る古典の名前」「ご当地キャラクター」の部分を読み, 内容を理解する。</p> <p>2 教科書〔八四〕に載るご当地キャラクターの由来やそれに関する古典作品や伝</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や, 古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深めている。</li> </ul>

		<p>説, 歴史上の人物について調べ, 発表する。(課題1)</p> <p>3 ご当地キャラクター以外で, 古典作品や伝説, 歴史上の人物について調べ, 発表する。(課題2)</p> <p>4 古典作品や伝説, 歴史上の人物などを調べ, ご当地キャラクターを考案する。(課題3)</p> <p><input type="checkbox"/> 「今に生きる古典」としてどのようなものがあるか考え, 発表する。</p>	<p>・「読むこと」において, 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して, 我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 進んで現代の生活に根付く古典の存在を見だし, 学習課題に沿って現代と古典の世界とのつながりについて理解を深めようとしている。</p>
--	--	--	--

## Ⅱ部 3年次2単位配当

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1学期				
古文編1 随筆を味わう(4月)				
読む 枕草子  P86 4時間  ■ 古文の窓4 『枕草子』のパロディ P91	【知技】(1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ,ウ 【思判表】読む こと(1)ア,イ, ウ,オ,カ  【知技】(1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ,ウ 【思判表】読む こと(1)エ	・随筆の内容を自分と関係づけながら、もの見方、感じ方、考え方を広げる。	□この作品の内容と作者について、今までの学習で得ていた知識とともに、簡単に整理し、理解する。  <b>【ありがたきもの】</b> 1 この章段の「ありがたし」の意味を、列挙されているものから類推する。(手引き1) 2 列挙された事例の特徴を考える。(手引き2) 3 『枕草子』のパロディである『犬枕』、『尤之双紙』の一部を読み、内容を理解するとともに、それぞれの工夫について考える。(古文の窓4)  <b>【九月ばかり】</b> 1 作者の自然を見る視線の鋭さが、どの描写に見られるかを読み取る。(手引き1) 2 「をかし」の語に込められている作者の心情を読み取る。(手引き2)	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。  <b>【思判表】</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。

			<p><b>【中納言参り給ひて】</b></p> <p>1 登場する人物を挙げ、会話部分が誰の言葉であるかを指摘する。(手引き1)</p> <p>2 「さては…くらげのななり。」について、その意味内容を読み取る。(手引き2)</p> <p>3 隆家と作者の会話から、二人の人物関係について理解する。</p> <p>4 末尾の記述に表れている作者の心情を読み取る。(手引き3)</p> <p><b>【雪のいと高う降りたるを】</b></p> <p>1 場面を読み取り、発言の主体と動作とを把握する。(手引き1)</p> <p>2 作者のどのような行動が中宮の心になったのかを読み取る。(手引き2)</p> <p>3 女房たちが作者をどのように評価していたかを読み取る。(手引き3)</p>	<p>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。</p>
<p>読む 〔言語〕現代版「ありがたきもの」を文語で書く  P92 1時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ, ウ <b>【思判表】</b> 読むこと(1)ウ, オ, ク <b>㊦</b> 読むこと(2)ウ</p>	<p>・文語で書くことを通して、古典の語彙や表現についての理解を深める。</p>	<p>1 改めて、古語「ありがたし」の意味を確認するとともに、『枕草子』の「ありがたきもの」の表現の特徴を整理する。</p> <p>2 現代版「ありがたきもの」を文語で書くために、「ありがたきもの」を列挙する。(課題1)</p> <p>3 列挙したものを精選し、現代語で下書きする。(課題2)</p> <p>4 文語を用い、助動詞・助詞を適宜使っ</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul>



			<p>て清書する。(課題3)</p> <p>5 文語文による現代版「ありがたきもの」を書くにあたって、どのような工夫をしたか、『枕草子』の「ありがたきもの」をどのように参考にしたか、発表する。(課題4)</p> <p>6 書いた作品を互いに読み合い、観点をもとに批評し合う。(課題5)</p> <p>□各章段の内容上の特徴についてまとめ、『枕草子』の内容上の三つの分類に区分する。</p>	<p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。</p>
--	--	--	--	---

漢文編1 小話を読む(5月)

<p>読む 小話一三編〔言語〕 P220 7時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ / (2)イ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, ク</p> <p><b>㊦</b> 読むこと(2)イ</p>	<p>・話の展開や内容のおもしろさを味わい、さまざまな人間の考え方を比較する。</p>	<p>□『十八史略』について、第I部で学習した内容を振り返る。</p> <p>□第I部の「三国志の世界」の登場人物について、誰に共感したかを述べ合う。</p> <p><b>【鼓腹撃壤】</b></p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き1)</p> <p>3 全文を正確に音読した後、主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き1)</p> <p>4 疑問形・二重否定・反語形・使役形の用</p>	<p><b>[知技]</b></p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p><b>[思判表]</b></p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値につ</p>
--	---	---	---	--

			<p>法を確認する。</p> <p>5 帝堯が入手した情報についてまとめる。(手引き 2)</p> <p>6 本文から読み取れる帝堯の人柄について整理する。(手引き 3)</p> <p>7 「鼓腹撃壤」の意味を考える。(手引き 4)</p> <p><b>【宋襄之仁】</b></p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き 1)</p> <p>3 主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>4 受身形の句法を確認する。</p> <p>5 楚軍に対する、目夷と襄公の対応の違いをまとめる。</p> <p><b>【燕雀安知鴻鵠之志哉】</b></p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き 1)</p> <p>3 第一段落について、主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>4 仮定形と反語形の句法を確認する。</p> <p>5 陳勝の傭者に対する発言と、傭者の返答、それに対する陳勝の気持ちをまと</p>	<p>いて考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に文章のおもしろさを味わい、登場人物の言動等の記述からその人柄や考え方について考察しようとしている。</p>
--	--	--	--	---

			<p>める。(手引き2)</p> <p>6 全文を音読した後、第二段落について主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き1)</p> <p>7 二人称「若」について確認する。</p> <p>8 全文を正確に音読する。</p> <p>9 陳勝の徒属に対する発言について、どんな点に説得力があったのかをまとめる。(手引き3)</p> <p>10 反語形の句法を確認する。</p> <p>11 志を立てる意味の故事成語についてまとめる。(手引き4)</p> <p><input type="checkbox"/> 「鼓腹撃壤」「宋襄之仁」「燕雀安知鴻鵠之志哉」の登場人物の言動を確認し、その人柄を探る。</p> <p><input type="checkbox"/> この単元で学習した疑問形・二重否定・使役形・受身形・仮定形・反語形の各句法についてまとめる。</p>	
--	--	--	---	--

古文編2 歌物語を楽しむ (6月)

<p>読む 伊勢物語</p> <p>P94 5時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 歌物語の特徴および『伊勢物語』について、既習の事柄を整理する。</p> <p><b>【初冠】</b></p> <p>1 本文を現代語訳し、内容を読み取る。(手引き1)</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現</li> </ul>
---------------------------------------	---	---	---	--

			<p>2 「春日野の…」の歌と「陸奥の…」の歌を比較し、前者の表現の工夫をまとめる。(手引き2)</p> <p>3 最終部の評語から、この章段の主題を考える。(手引き3)</p> <p><b>【東下り】</b></p> <p>1 本文を通読し、旅の行程に注目しながら、いくつかの場面に分ける。(手引き1)</p> <p>2 第一段落の重要語に注意し、現代語訳する。</p> <p>3 主人公の「男」が「東下り」をするに至った事情について学び、その時の男の心情を考える。</p> <p>4 「唐衣…」の歌に用いられた和歌の修辭を理解するとともに、そこに詠み込まれた心情を理解する。(手引き2)</p> <p>5 第二～第五段落において、どのような場所を、どのように旅したか、具体的に考える。</p> <p>6 第二～第四段落において、「宇津の山」「富士の山」がどのように描写され、和歌に取り入れられているか考える。</p> <p>7 第五段落において、「すみだ川」のほとりでの、男たちの心情について考える。(手引き2)</p>	<p>の特色について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 積極的に歌物語の特徴について理解し、今までの学習を生かして、登場人物の心情や作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</p>
--	--	--	--	---

			<p>8 全体を読み直し、男たちの心情の変化を、和歌に着目し、整理する。(手引き2)</p> <p><b>【渚の院】</b></p> <p>1 本文を読み、あらすじを把握する。</p> <p>2 それぞれの和歌における工夫について理解する。(手引き1・2)</p> <p>□『伊勢物語』を例に、歌物語の特徴をまとめ、理解する。</p>	
<p>読む 大和物語〔言語〕</p> <p>P103 2時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ, エ/(2)ア, イ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>・歌物語に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 自分の考えを深める。</p>	<p>□作品についての解説を聞き, 概略を理解する。</p> <p>□姨捨伝説を知り, 興味を持つ。</p> <p><b>【姨捨】</b></p> <p>1 話の概略を理解する。</p> <p>2 「をば」を山に捨てるまでの男の気持ちがどのように変化しているかをまとめる。(手引き1)</p> <p>3 男が「をば」を迎えに行ったきっかけを読み取る。(手引き2)</p> <p>□各地に伝わる姨捨伝説について調べて, 発表する。(言語活動)</p> <p>□『伊勢物語』と比較し, 歌物語としての『大和物語』の特質を理解する。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評</li> </ul>

				<p>価している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、今までの学習を生かして人物の心情を理解し、姨捨伝説についての自らの考えを深めようとしている。</p>
<p>読む 〔言語〕言葉の変遷を調べる</p> <p>P106 1時間</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2)ア, イ, ウ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)キ, ク</p> <p>㊦ 読むこと(2)カ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について考察する。</li> </ul>	<p>□古語と現代語の違いについて、これまでの学習で気づいた点を挙げる。</p> <p>1 古語の意味の変化や生き残りの諸相といった観点から、興味を持ったテーマを選び、調べる。(課題)</p> <p>2 選んだ古語について調べたことを手がかりに、国語の特質について考える。(課題)</p> <p>□現代語に古語から引き継いでいる語があることを確認する。また、古語と現代語で意味が変わらない語、古語にはあるが現代語にはない語、現代語にはあるが古語にはない語を挙げて、言葉の変遷について考える。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 進んで言葉の変遷について疑問を持ち、学習課題に沿ってその疑問について調べ、時代の移り変わりや社会の変化に伴う言葉の変遷や言葉の本質について自らの考えを深め、分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。</p>
漢文編2 古詩を味わう(7月)				
読む	<p><b>[知技]</b> (1)ア,</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や表現の豊</li> </ul>	<p>□近体詩の特色を思い出してみる。</p>	<p><b>[知技]</b></p>

<p>古体詩一五首</p> <p>P 228</p> <p>5 時間</p>	<p>イ, エ / (2)ア, エ</p> <p><b>【思判表】読むこと(1)ア, イ, エ, カ</b></p>	<p>かさを理解し、詩にうたわれた情景や心情を読み味わう。</p>	<p>□近体詩と古体詩の詩形の違いについて学習し、「桃夭」を例として確かめる。(手引き 4)</p> <p><b>【桃夭】 【上邪】</b></p> <p>1 詩を正確に読んで書き下し、繰り返し朗読する。(手引き 1)</p> <p>2 詩形と押韻を確認する。(手引き 4)</p> <p>3 展開に注意して現代語訳し、「桃夭」「上邪」にうたわれた主題や作者の心情を考える。(手引き 2)</p> <p>4 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。</p> <p><b>【飲酒】 【子夜呉歌】</b></p> <p>5 詩を正確に読んで書き下し、繰り返し朗読する。(手引き 1)</p> <p>6 詩形・押韻・対句を確認する。(手引き 4)</p> <p>7 展開に注意して現代語訳し、「飲酒」「子夜呉歌」にうたわれた主題や作者の心情を考える。(手引き 2)</p> <p>8 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。</p> <p><b>【長恨歌】</b></p> <p>1 全体を範読に従って繰り返し朗読して、大体のあらすじを把握する。(手引</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 積極的に白居易の「長恨歌」について調べ、今までの学習を生かして、日本文学に大きな影響を与えた理由について考察しようとしている。</p>
--	--	-----------------------------------	---	---

			<p>き1)</p> <p>2 全体を八つの場面に分け、その内容を把握する。(手引き3)</p> <p>3 第一、二、三場面から、楊貴妃の生い立ち、美しさ、漢皇(玄宗)の様子や寵愛ぶり、それを取り巻く人々の対応などを読み取る。</p> <p>4 第三場面から、安祿山の進攻による楊貴妃の死を捉える。</p> <p>5 第四場面から、楊貴妃没後の行宮における漢皇(玄宗)の描写を読み取る。</p> <p>6 第四場面から、長安に戻る途中での楊貴妃の死亡場所における情景を読み取る。</p> <p>7 第五場面から、長安に戻った後の宮廷をはじめ漢皇(玄宗)の様子を読み取る。</p> <p>8 第六場面から、道士による不思議な仙術を読み取る。</p> <p>9 第七、八場面から、仙山の様子と、そこに住む楊貴妃の霊魂と道士との幻想的な対応の表現を味わう。</p> <p>10 第七、八場面から、二人の「誓い」の内容を把握する。</p> <p>11 「長恨歌」という題に込められた意味を考える。</p>	
--	--	--	--	--



			<p>□古詩五首の中で印象に残ったものを取り上げ、鑑賞文を書く。</p> <p>□参考の『源氏物語』（桐壺）を読んで、「長恨歌」からの影響を考える。</p>	
■ 2 学期				
古文編 3 歴史物語を読む（9月）				
<p>読む 大鏡</p> <p>P108 4時間</p>	<p>【知技】(1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ</p> <p>【思判表】読むこと(1)ア, イ, ウ, エ, カ</p>	<p>・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に読み取る。</p>	<p>□歴史物語としての『大鏡』の特色を簡略に理解する。</p> <p>□古老たちが見聞した昔話を若侍に語るという叙述方法は、どのような効果をもたらすかを考える。</p> <p><b>【道真の左遷】</b></p> <p>1 登場人物を確認する。(手引き 1)</p> <p>2 帝の処置の厳しさと、「東風吹かば…」の歌に表れた道真の心情を読み取る。(手引き 2)</p> <p><b>【三船の才】</b></p> <p>1 道長と公任の当時の関係を理解する。</p> <p>2 「小倉山…」の歌を解釈し、用いられている修辞等からこの歌の特徴を挙げる。</p> <p>3 公任が後悔している心情を考える。(手</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値につ</li> </ul>

			<p>引き1)</p> <p>4 公任の人物像を、本文の公任の言動を根拠にして考える。(手引き2)</p> <p><b>【道長、伊周の競射】</b></p> <p>1 道長と道隆・伊周との関係を確認する。</p> <p>2 勝負の延長を要求した道隆の意図と、それを受けての道長の言動について、伊周と比較しつつ考える。(手引き1・2)</p> <p>3 勝負の結果を受けての道隆の心境と、その後の展開を考える。(手引き3)</p>	<p>いて考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【主】</b></p> <p>・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>〔言語〕道真伝説を調べる</p> <p>P115</p> <p>1時間</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア</p> <p><b>【思判表】</b>(1)キ、ク</p> <p>㊦ 読むこと</p> <p>(2) オ</p>	<p>・関心を持った事柄について調べ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p>	<p>1 さまざまな道真伝説の中から、興味を引かれたこと、調べてみたい事項を選ぶ。(課題)</p> <p>2 自分の選んだテーマについて、文献、フィールドワーク、インターネット等で調べ、まとめる。(課題)</p> <p><input type="checkbox"/> 道長を中心にして、『大鏡』の示す理想的な人物像を考える。</p> <p><input type="checkbox"/> 『栄花物語』との比較を便覧などで調べ、まとめる。</p>	<p><b>【知技】</b></p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思判表】</b></p> <p>・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【主】</b></p> <p>・積極的にテーマについて調べたい事柄を選定し、今までの学習を生かしてさまざまな資料を調べてまとめることを通してものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>
漢文編3 史記を味わう(10月)				

<p>読む 廉頗と藺相如〔言語〕 P 242 8時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ,ウ/(2)ウ, エ [思判表] 読む こと(1)ア, イ, オ, ク ㊦ 読むこと (2)キ</p>	<p>・登場人物の人物 や言動を捉え、 本文と同形の 故事成語につ いて現代の生 活と絡めた随 想を書く。</p>	<p>□『史記』と司馬遷, 「鴻門之会」「四 面楚歌」「項王自刎」について, I 部 で学習した内容を振り返る。</p> <p>□「鴻門之会」「四面楚歌」「項王自 刎」の登場人物について, 誰に共感し たかを述べ合う。</p> <p><b>【澠池之会】</b></p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引 き1)</p> <p>3 全文を音読した後, 第一段落について 主語を確認しながら内容を正確に捉え て現代語訳する。(手引き1)</p> <p>4 趙王の態度に対する, 廉頗と藺相如の 言動をまとめる。(手引き2)</p> <p>5 使役形の句法を確認する。</p> <p>6 仮定形の句法を確認する。</p> <p>7 全文を音読した後, 第二段落について 主語を確認しながら内容を正確に捉え て現代語訳する。(手引き1)</p> <p>8 会見の内容を, 主語を確認しながら正 確に捉える。(手引き2)</p> <p>9 願望形の句法を確認する。</p> <p>10 「寡人」「於是」「不肯」について確認 する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必 要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を 深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や, 古典が現代の言葉の成り立ちにもたら した影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のももの見方, 感じ 方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確 に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意 して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 古典の作品や文章について, 内容や解釈を自分 の知見と結び付け, 考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「読むこと」において, 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から 評価することを通して, 我が国の言語文化について自分の考えを広げたり 深めたりしている。</li> </ul> <p>[主] 積極的に「…の交わり」という形の故事成語を探し, もとになった 話を読もうとしている。また, そのうちの一つを選び, 現代の私たちの 生活に当てはめて考えたことを, 今までの学習を生かして随筆にまとめ ようとしている。</p>
--	--	---	--	---

			<p>11 全文を音読する。</p> <p>12 「不能」と「能」とについて，比較検討する。</p> <p>13 「不敢」と「敢不」とについて，比較検討する。</p> <p>14 全体の内容について，秦国と趙国の双方が相手に与えた圧力の観点からまとめる。(手引き2)</p> <p><b>【勿頸之交】</b></p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 書き下し文を正確に記述する。(手引き1)</p> <p>3 辞書を用いて「勿頸之交」を調べ，同意の故事成語を簡単に確認する。</p> <p>4 廉頗の発言と藺相如の行動に着目して第一段落を読む。(手引き2)</p> <p>5 全文を音読した後，第一段落について主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き1)</p> <p>6 廉頗の藺相如に対する気持ちと，藺相如の行動をまとめる。(手引き2)</p> <p>7 限定形の句法を確認し，「徒」から「独」「纔」「耳・爾・已」等まで発展させる。</p> <p>8 接続詞「而」の用法を確認する。</p> <p>9 全文を音読した後，第二段落について主語を確認しながら内容を正確に捉え</p>	
--	--	--	---	--

			<p>て現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>10 藺相如の廉頗に対する気持ちと、舎人の藺相如に対する気持ちをまとめる。 (手引き 2)</p> <p>11 抑揚形の句法を確認する。</p> <p>12 選択形の句法を確認する。</p> <p>13 比較形の句法を確認する。</p> <p>14 「其勢不俱生」〔二四六・10〕を扱い、部分否定と全部否定を学習する。</p> <p>15 全文を音読した後、第三段落について主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳する。(手引き 1)</p> <p>16 廉頗の藺相如に対する気持ちと行動をまとめ、二人の性格について話し合う。 (手引き 2・3)</p> <p>17 「…の交わり」という形の故事成語を多く探して元の話を読み、随筆を書く。 (言語活動)</p> <p><input type="checkbox"/>この単元で学習した使役形・仮定形・願望形・限定形・抑揚形・選択形・比較形の各句法についてまとめる。</p>	
古文編 4 歌話・歌論を読む (11月)				
読む 袋草紙  P118	[知技] (1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ	・歌話・歌論に表 れているもの の見方, 感じ	<input type="checkbox"/> 和歌の世界を前提とする本文を学習することを確認する。 <input type="checkbox"/> 音読によって、話の大筋をつかむ。	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。

<p>1 時間</p>	<p><b>【思判表】読むこと(1)ア, イ, エ, オ</b></p>	<p>方, 考え方を理解し, 自分の考えを広げる。</p>	<p><b>【能因と節信】</b></p> <p>1 本文を前後二つの内容に分けて, 構造を確認する。</p> <p>2 前半 (第一段) の内容を大まかにつかむ。</p> <p>3 第一段の前半 (第一段落) の内容を読み取る。</p> <p>4 第一段の後半 (第二段落) の内容を読み取る。</p> <p>5 第一段の前半と後半の内容に共通するものは何か理解する。(手引き 1)</p> <p>6 第二段 (第三段落) から, 数寄者の価値観や人生観について話し合う。(手引き 2)</p> <p>□数寄者の人生観を理解する。(古文の窓 5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において, 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において, 古典の作品や文章について, 内容や解釈を自分の知見と結び付け, 考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b> 積極的に歌話・歌論に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を理解し, 今までの学習を生かして自分の考えを広げようとしている。</p>
<p>読む 無名抄</p> <p>P 120</p> <p>2 時間</p> <p>■古文の窓 5 和歌と「すき」</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2)ア, イ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ</p> <p><b>【知技】</b> (1)イ / (2)ウ</p> <p><b>【思判表】</b> 読む</p>	<p>・構成を捉えながら歌論を読み, 内容の解釈を深める。</p>	<p>□既習の『方丈記』の作者, 鴨長明の歌人としての一面を知る。</p> <p><b>【出で映えすべき歌のこと】</b></p> <p>1 話の展開を整理する。</p> <p>2 頼政の歌と能因の歌について比較する。(手引き 1)</p> <p>3 頼政の気持ちを考える。(手引き 2)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> </ul>

	こと(1)エ		<p>4 俊恵の気持ちを考える。(手引き3)</p> <p>□歌合の場にふさわしい歌がどのようなものかを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的に構成を捉えながら歌論を読み、今までの学習を生かして内容の解釈を深めようとしている。</p>
<p>読む 古今和歌集仮名序 P123 2時間</p> <p>■古文の窓6 勅撰和歌集の歴史</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, オ</p> <p><b>[知技]</b> (1)イ / (2)ウ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌論に述べられた論旨を捉え、自分の考えを深める。</li> </ul>	<p>□本教材が「歌論」という特殊な内容であることを確認する。</p> <p><b>【やまと歌は】</b></p> <p>1 『古今和歌集』の文学史的な位置づけについて理解する。(古文の窓6)</p> <p>2 「やまと歌は」を通読し、構成を理解する。</p> <p>3 作者の言う和歌の本質とは何であるかを、比喩に着目しながら読み取る。(手引き1)</p> <p>4 作者が和歌をどのようなものとして捉</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul>

			<p>えているかをまとめる。</p> <p>□歌にはどのような効用があるか。各自が考えることを話し合う。(手引き2)</p>	<p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的に歌論に述べられた論旨を捉え、今までの学習を生かして自分の考えを深めようとしている。</p>
--	--	--	--	--

漢文編4 中国の思想 (11月)

<p>読む 儒家と道家〔言語〕 P250 7時間</p> <p>■漢文の窓4 儒家と道家</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア, イ, エ/(2)ウ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, オ, キ</p> <p>④読むこと(2)イ</p> <p><b>[知技]</b> (1)ア, イ/(2)ウ, エ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, ウ, カ</p>	<p>・古代中国のさまざまな思想を比較し、人間のあり方について討論を試みる。</p> <p>□諸子百家や彼らを取りまく時代状況について、教科書巻末の「中国文学史年表」や便覧等で確認し、ノートにまとめる。</p> <p>□孔子・孟子・荀子は「儒家」、老子・莊子は「道家」と呼ばれ、諸子百家のそれぞれが、時代の混乱を収束させるために活動したことを補説する。</p> <p><b>【論語—三章】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> </ul>
--	--	---	--



			<p>に現代語訳する。</p> <p>3 「吾嘗終日不食…」の章から、「思」と「学」の関係について考える。</p> <p>4 「君子和而不同…」の章から、「君子」について考える。</p> <p>5 「道之以政…」の章から、「政治」について考える。</p> <p>6 『論語』における「学問・君子・政治」の関係性についてまとめる。(手引き1)</p> <p><b>【性相近也】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。</p> <p>3 孔子の言う「性」について考える。(手引き2)</p> <p>4 『論語』における「人間の本性」について考察する。(言語活動1)</p> <p><b>【不忍人之心】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 孟子の性善説について理解する。(手引き3)</p> <p>4 孟子の論理展開について考え、その説得術を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間の本性」と「人間の本性が善か、悪か」について、積極的に自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして発表しようとしている。</li> <li>・老子と陶潜が描く理想郷について、積極的に読み取って比較・検討しようとしている。</li> </ul>
--	--	--	--	---

			<p><b>【人之性悪】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 性悪説の特徴をまとめる。(手引き4)</p> <p>4 孟子と荀子の相違点をまとめ、それぞれの論理展開の巧みな点について、話し合う。(言語活動2・3)</p> <p><b>【無用之用】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 老子が「無用之用」の具体例として挙げている物が、どのような「用」を果たしているか理解する。(手引き3)</p> <p><b>【大道廃, 有仁義】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 本文の構造を理解し、正確に現代語訳する。</p> <p>3 本文の主張を理解する。</p> <p>4 儒家と道家の違いについて理解する。</p> <p>5 逆説的表現を抜き出す。(手引き2)</p> <p><b>【小国寡民】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。</p>	
--	--	--	---	--

		<p>3 「小国寡民」とはどのようなものを理解する。(手引き3)</p> <p>4 老子が描く理想郷について理解する。 (言語活動)</p> <p><b>【曳尾於塗中】</b></p> <p>1 本文を繰り返し音読する。</p> <p>2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 「曳尾於塗中」に述べられている荘子の生き方を把握する。(手引き4)</p> <p>□ 「漢文の窓4 儒家と道家」(教科書二六〇ページ)を読んで、思想家それぞれの重点がどこに置かれているのか、話し合う。(漢文の窓4)</p> <p>□ 世の中で活躍するための学問と、無や自由な生涯を全うすることにこそ価値があるとする立場とが、なぜ生まれたのか、話し合う。</p> <p>* <b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	--

古文編5 作り物語を味わう(12月)

読む 源氏物語〔言語〕	【知技】(1)ア, イ,ウ,エ/(2)	・他の作品や絵画との関係も踏	□ 「出典・作者」の項を参考にして、作品と作者について必要な知識を得る。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために
----------------	------------------------	----------------	--------------------------------------	--

<p>P126 5時間</p> <p>■ 古文の窓 7 その後の若紫</p>	<p>ア、イ、ウ</p> <p><b>【思判表】読むこと(1)</b>ア、イ、ウ、エ、カ、ク</p> <p><b>㊦ 読むこと(2)</b>ア</p> <p><b>【知技】(1)</b>イ／</p> <p>(2)ア</p> <p><b>【思判表】読むこと(1)</b>エ</p>	<p>まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。</p>	<p><b>【光源氏の誕生】</b></p> <p>1 全体を通読し、現代語訳をする。</p> <p>2 敬語について理解する。</p> <p>3 物語世界がどのような状況であるかを理解する。(手引き 1・2・3)</p> <p>4 物語の書きだしについて考える。(手引き 4)</p> <p><b>【若紫】</b></p> <p>1 全体を通読し、現代語訳をする。</p> <p>2 登場人物について整理し、理解する。</p> <p>3 登場人物の描写の特徴を理解する。(手引き 1)</p> <p>4 登場人物の心情を読み取る。(手引き 2・3)</p> <p>5 絵画に描かれた場面と本文とを比べる。(言語活動)</p> <p>* <b>D</b> この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・ 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・ 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・ 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・ 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本</li> </ul>
--	---	-------------------------------	---	--

				文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。
読む 源氏物語—現代語訳の世界 P137 1時間	[知技] (1)イ／ (2)ア, ウ, エ [思判表] 読む こと(1)ク	・さまざまな現代語訳を通して、古典作品を多面的・多角的な視点から評価する。	1 『源氏物語』の現代語訳は、それぞれどのような特徴があるか、単独またはグループで考える。 2 担当した現代語訳の特徴について、考えた結果を文章にまとめて、単独もしくはグループで発表する。 3 他の現代語訳の特徴を知り、自分が選んだ訳との共通点や相違点を考えて、文章にまとめる。(課題)  □「光源氏の誕生」「若紫」の内容をまとめる。 □「古文の窓7」を読み、今後の展開について、知識を得る。(古文の窓7)	[知技] ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] ・積極的に『源氏物語』の現代語訳や各国語訳について調べ、今までの学習を生かして古典作品が時代や文化の違いを超える意義について考察を深めている。
■ 3 学期				
古文編6 俳諧に親しむ(1月)				
読む 近世俳句抄 P140 2時間	[知技] (1)ア, イ, ウ, エ／(2) ア, イ [思判表] 読む こと(1)ア, イ, ウ, カ	・発句に詠み込まれた情景や心情を捉え、言語文化についての理解を深める。	□既習の作品や作者紹介などをもとに芭蕉・蕪村・一茶の概略を確認する。  1 解説文を基に各句の句意を把握する。 2 各句の季語について考察する。(手引き1) 3 各句に詠まれた情景あるいは心情につ	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と

			<p>いて考察する。</p> <p>4鑑賞文を書き、発表し合う。(手引き2)</p> <p><input type="checkbox"/>学習活動4で書いた鑑賞文をお互いに批評し合う。</p>	<p>中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b>積極的に発句に詠み込まれた情景や心情を捉え、今までの学習を生かして言語文化についての理解を深めようとしている。</p>
<p>読む 去来抄</p> <p>P145 1時間</p>	<p><b>【知技】</b>(1)ア, イ,ウ,エ/(2) ア,イ</p> <p><b>【思判表】</b>読む こと(1)ア,イ, ウ,ク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳論の内容を的確に読み取り、論旨を捉える。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/>『去来抄』の概略を聞き、芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。</p> <p>1 洒堂の提案が、月と猿の伝統的な構図による取り合わせの、平凡な着想であることに気づく。(手引き1)</p> <p>2 「月の客」が、去来の意図と芭蕉の解釈とでは、どのように違っているのか、現代語訳して整理する。(手引き2)</p> <p>3 去来の言葉と句の鑑賞から、芭蕉の解釈の優れている点を考える。(手引き3)</p>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> </ul>

			<p>□『去来抄』の俳論としての特色、芭蕉の教えの深さについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p>[主] 積極的に俳論の内容を読み取り、今までの学習を生かして論旨を捉えようとしている。</p>
<p>読む 三冊子</p> <p>P147 1時間</p> <p>■古文の窓8 連歌と俳諧</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ, エ / (2) ア, イ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, イ, エ, カ</p> <p>[知技] (1)イ, エ / (2)ア</p> <p>[思判表] 読むこと(1)エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俳論に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自分の考えを広げる。</li> </ul>	<p>□『三冊子』が『去来抄』と並んで、芭蕉の俳論を窺い知るうえで重要な俳論書であることを知る。</p> <p>□既出の芭蕉の句や『去来抄』から、伝統と新しみについて、考えたことを発表する。</p> <p>1 論点を整理し、俳諧の特性と「俳諧の誠」について理解する。(古文の窓8) (手引き1・2)</p> <p>□『去来抄』と併せて、短詩型文学の背景にある思想の豊かさや、芸術を追究する妥協のない厳しい姿勢について考える。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> </ul> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、</li> </ul>

				<p>感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 積極的に俳論に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取り、今までの学習を生かして自分の考えを広げようとしている。</p>
古文編7 伝承の世界 (1月)				
<p>読む 古事記</p> <p>P150 3時間</p> <p>■古文の窓9 現代に伝わる日本の神話</p>	<p><b>[知技]</b> (1)ア、イ、ウ、エ／(2)ア、イ、ウ</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア、イ、ウ、カ、ク</p> <p><b>[知技]</b> (1)イ／(2)ア</p> <p><b>[思判表]</b> 読むこと(1)エ</p>	<p>・上代の文章の特色を踏まえながら内容を的確に捉え、言語文化についての理解を広げる。</p>	<p>□これまでに知っている日本神話を尋ね、『古事記』の成立年、編者、成立の過程などを確認する。</p> <p><b>【倭建命】</b></p> <p>1 リード文も踏まえて、それまでの経緯を理解する。</p> <p>2 弟橘比売の行動を読み解く。(手引き1)</p> <p>3 「吾妻はや。」と発した倭建命の心情と、地名起源について理解する。また、酒折の宮の逸話から、古代の言葉の霊性を理解する。(手引き1)</p> <p>4 伊服岐の山での倭建命の失敗について理解する。(手引き1)</p> <p>5 交互に出てくる地の文と歌謡の役割および歌謡に込められた心情について理解する。(手引き2)</p> <p>6 物語の結末について理解し、本教材を読んだ感想を話し合う。</p>	<p><b>[知技]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。</li> <li>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。</li> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から</li> </ul>



			<input type="checkbox"/> 上代の文学に特徴的な表現や、作品の特色についてまとめる。 <input type="checkbox"/> 本文に登場する「草なぎの剣」が受け継がれてきたという来歴について考える。(古文の窓9)	評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 <b>[主]</b> 積極的に上代の文章の特色を踏まえながら内容を的確に捉え、今までの学習を生かして言語文化についての理解を広げようとしている。
--	--	--	---	--

漢文編5 日本の漢詩文(2~3月)

読む 詩一二首 P262 2時間	<b>[知技]</b> (1)ア, イ, エ / (2)ア, エ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ	・表現豊かな詩情を味わい、日本文化と中国文化の関係について考える。	<input type="checkbox"/> 漢詩の規則と特徴について板書したものをノートにまとめる。 <input type="checkbox"/> 近代に至るまで、日本の知識人が自分の心情を吐露する詩形として漢詩があったことを理解する。	<b>[知技]</b> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。
読む [言語] 漢詩の作り方を知る P264 1時間	<b>[知技]</b> (1)イ, エ / (2)イ, エ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)エ, キ, ク (活) 読むこと(2)ウ	・学習を通じて漢詩の復元を試みる。	<b>【聞旅雁】【送夏目漱石之伊予】</b> 1 それぞれの詩形と構成、押韻を確認する。(手引き1) 2 それぞれの詩を訓点に従って正確に音読し、書き下す。 3 詩題と展開に注意して現代語訳し、詠まれている状況を考える。 4 詩が詠まれた背景を踏まえて、それぞれどのような心情が詠まれているかを考える。(手引き2) 5 印象に残った表現や句について話し合う。(手引き3) 6 理解した詩の内容をもとにそれぞれ暗唱する。	<b>[思判表]</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、
<b>■漢文の窓5</b> 明治の文豪と漢詩	<b>[知技]</b> (1)ア, イ / (2)ア, エ <b>[思判表]</b> 読むこと(1)ウ, エ, カ			

			<p>□これまでに学習した中国の詩との趣の違いを理解する。</p> <p>□中古、近代においても漢詩が文壇の一角を占めていたことを理解する。(「漢文の窓5」も適宜参照。)</p> <p>□「言語活動 漢詩の作り方を知る」(教科書二六四ページ)に取り組み、課題を通じて漢詩の構造と作り方を知る。</p> <p>*<b>D</b>この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> </ul> <p><b>【主】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人が作ったさまざまな詩を積極的に読み味わい、今までの学習を生かして言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。</li> <li>・積極的に漢詩の形式ときまりを理解し、今までの学習を生かして漢詩を復元しようとしている。</li> </ul>
<p>読む 信玄と謙信</p> <p>P266 4時間</p>	<p><b>【知技】</b> (1)ア, イ, ウ/(2)ウ, エ</p> <p><b>【思判表】</b> 読むこと(1)ア, イ, エ, カ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の漢文叙述による歴史上の逸話を通して、名将二人の魅力に触れる。</li> </ul>	<p>□教科書の注釈などを利用し、『日本外史』と著者頼山陽についてノートにまとめる。</p> <p>□必要事項を板書したものをノートにまとめる。便覧等も積極的に活用する。</p> <p><b>【所争不在米塩】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓点や仮名遣いに注意して本文を音読する。</li> <li>2 脚注・辞書等を参照しながら、句法に注意して、正確に現代語訳する。(手引き1)</li> <li>3 登場人物を整理し、それぞれがどのような行動をとったかまとめる。</li> </ol>	<p><b>【知技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</li> <li>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</li> <li>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>【思判表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値につ</li> </ul>

			<p>4 謙信の戦に対する考え方を理解し、またその器の大きさを考える。(手引き2)</p> <p>5 「敵に塩を送る」という言葉の意味と、どのように使われているかを調べる。</p> <p><b>【諸将服信玄】</b></p> <p>1 訓点や仮名遣いに注意して本文を音読する。</p> <p>2 脚注・辞書等を参照しながら、句法に注意して、正確に現代語訳する。(手引き1)</p> <p>3 謙信はどのような作戦を考え、また信玄はそれに対してどのような判断を下したかを読み取る。</p> <p>4 信玄の武将としてのすばらしさを理解する。(手引き2)</p> <p>□謙信と信玄の武将としての人間性のすばらしさや力量について話し合う。</p>	<p>いて考察している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b>積極的に本文の内容や構成、展開を捉え、今までの学習を生かして、登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考えようとしている。</p>
--	--	--	---	--